令和6年度 決算(見込)

# 概要説明書

# 目 次

1	普通会計決算(見込)の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1)決算規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(2)歳入歳出内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(3)財政指標等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2	企業会計(水道事業会計・簡易水道事業会計)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3	企業会計(下水道事会計・農業集落排水事業会計)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

# 1 普通会計決算(見込)の概要

① 決算規模

歳 入 360億4,915万円 (前年度比 4.3%) 歳 出 351億7,905万4千円 (前年度比 5.8%)

- ② 実質収支は、6億4,786万2千円 の黒字、単年度収支は、342万4千円、実質単年度収支は、 △2億9,402万円 となった。
- ③ 財政指標

経常収支比率は、前年度より2.4ポイント上昇しており、健全化判断比率の4指標については、いずれも早期健全化基準以下となっている。

・経常収支比率 92.1%(前年度 89.7%) 2.4ポイント増・公債費負担比率 14.5%(前年度 15.7%) 1.2ポイント減

(健全化判断比率)

実質赤字比率 – (黒字のため指標なし) 連結実質赤字比率 – (黒字のため指標なし)

実質公債費比率 10.5% (前年度 10.9%) 0.4ポイント減 将来負担比率 30.9% (前年度 34.8%) 3.9ポイント減

### (1)決算規模

(単位: 千円、%)

				(単位・十〇、70)
区分	令和6年度	令和5年度	増 減 額	増減率
歳 入 総 額 <b>A</b>	36,049,150	34,566,893	1,482,257	4.3
歳 出 総 額 B	35,179,054	33,255,827	1,923,227	5.8
歳入歳出差引(形式収支) (A-B) C	870,096	1,311,066	△ 440,970	△ 33.6
翌年度に繰り越すべき財源 D	222,234	666,628	△ 444,394	△ 66.7
実 質 収 支 (C-D) E	647,862	644,438	3,424	0.5
単 年 度 収 支   (E-前年度E)	3,424	△ 88,066	91,490	
積 立 金 <b>G</b>	2,556	1,222	1,334	109.2
繰 上 償 還 金   H	0	0	0	_
積立金取崩額 [	300,000	300,000	0	0.0
実 質 単 年 度 収 支 (F+G+H-I) <b>J</b>	△ 294,020	△ 386,844	92,824	

### (2) 歳入歳出内訳

## 1歳入

(単位:千円、%)

区分		令和 5 年度				
区分	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率	決 算 額	構成比
地方税(市税)	8,618,591	23.9	△ 279,723	△ 3.1	8,898,314	25.8
地 方 譲 与 税	339,893	0.9	23,627	7.5	316,266	0.9
各 種 交 付 金	1,809,750	5.0	87,836	5.1	1,721,914	5.0
うち地方消費税交付金	1,586,575	4.4	44,093	2.9	1,542,482	4.5
地方特例交付金等	303,100	0.8	239,410	375.9	63,690	0.2
地方交付税	7,056,569	19.6	431,535	6.5	6,625,034	19.2
交通安全対策特別交付金	9,182	0.0	△ 489	△ 5.1	9,671	0.0
国庫支出金	7,382,925	20.5	85,058	1.2	7,297,867	21.1
県 支 出 金	2,746,908	7.6	△ 214,133	△ 7.2	2,961,041	8.6
繰 入 金	1,353,210	3.8	△ 423,656	△ 23.8	1,776,866	5.1
地方債(市債)	1,761,784	4.9	126,249	7.7	1,635,535	4.7
そ_ の 他	4,667,238	13.0	1,406,543	43.1	3,260,695	9.4
うち ふるさと寄附金	1,503,345	4.2	827,196	122.3	676,149	2.0
歳入合計	36,049,150	100.0	1,482,257	4.3	34,566,893	100.0
うち 一般財源	18,127,903	50.3	502,685	2.9	17,625,218	51.0

令和5年度のお倉ヶ浜総合公園野球場整備等に活用した公共施設整備等資金積立金繰入金の反動減等の要因による繰入金の減(△4億2,365万6千円)や定額減税による個人所得割の減や評価替えに伴う固定資産税減等に伴う地方税の減(△2億7,972万3千円)があったものの、ふるさと日向市応援寄附金の増(8億2,719万6千円)や普通交付税の増による地方交付税の増(4億3,153万5千円)のほか地方特例交付金の増(2億3,941万円)などにより、歳入全体では、5億268万5千円(2.9%)の増となった。

# (2) 歳入歳出内訳

## ②歳出(性質別)

(単位:千円、%)

区分					令和 6 年度			令和 5 年度		
					決 算 額	構成比	増 減 額	増減率	決 算 額	構成比
義	務	的	経	費	18,297,161	52.0	223,257	1.2	18,073,904	54.3
	人	. 1	件	費	5,475,738	15.6	286,361	5.5	5,189,377	15.6
	扶		助	費	9,509,354	27.0	69,963	0.7	9,439,391	28.4
	公	· 1	責	費	3,312,069	9.4	△ 133,067	△ 3.9	3,445,136	10.3
投	資	的	経	費	4,438,709	12.6	1,088,677	32.5	3,350,032	10.1
	普	通建	投事業	業費	4,265,745	12.1	1,094,301	34.5	3,171,444	9.6
		う	ち補助	事業費	2,757,840	7.8	537,537	24.2	2,220,303	6.7
		う	ち単独	事業費	1,278,905	3.6	593,203	86.5	685 <i>,</i> 702	2.1
	* * *	害復	日事美	業費	172,964	0.5	△ 5,624	△ 3.1	178,588	0.5
そ(	の他	の行	政紀	E 費	12,443,184	35.4	611,293	5.2	11,831,891	35.6
	物	1 1	件	費	5,180,421	14.7	519,545	11.1	4,660,876	14.0
	補	i助	費	等	2,899,765	8.2	△ 327,778	△ 10.2	3,227,543	9.7
	積	<u> </u>	立	金	1,042,989	3.0	459,697	78.8	583,292	1.8
	繰	I	出	金	2,675,163	7.6	△ 11,711	△ 0.4	2,686,874	8.1
	そ	(	カ	他	644,846	1.9	△ <b>28,4</b> 60	△ 4.2	673,306	2.0
歳	Ļ	4	合	計	35,179,054	100.0	1,923,227	5.8	33,255,827	100.0

義務的経費については、地方債現在高の減少に伴う公債費の減(△1億3,306万7千円)があったものの、会計年度任用職員勤勉手当の皆増のほか、退職手当の増や人事院勧告に伴う人件費の増(2億8,636万1千円)などから、2億2,325万7千円(1,2%)の増となった。

投資的経費については、お倉ヶ浜総合公園野球場整備や公営住宅ストック総合改善事業、美々津公民館大規模改修事業等の建設事業により、10億8,867万7千円(32.5%)の増となった。

また、その他の行政経費では、対象企業の減に伴う企業立地奨励金や雇用促進奨励金の減などによる補助費の減(△3億2,777 万8千円)があったものの、ふるさと日向市応援寄附金の受入額の増に伴う積立金の増(4億5,969万7千円)や当該寄附金受入れに伴う委託料や手数料の増による物件費の増(5億1,954万5千円)などにより6億1,129万3千円(5.2%)の増となった。この結果、歳出全体では、19億2,322万7千円(5.8%)の増となった。

# (3) 財政指標等

# 1 経常収支比率

(単位:%)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収支比率(%)	94.5	87.8	88.9	89.7	92.1
増 減	△ 0.3	△ 6.7	1.1	0.8	2.4

財政構造の弾力性を表す経常収支比率は92.1%となり、前年度から2.4ポイント上昇した。

これは、分母となる「経常一般財源等」が4億7,820万6千円(2.8%)の増となったものの、分子となる「経常経費充当一般 財源」の増( 8億4,659万7千円(5.5%))が上回ったことによるものである。

「経常経費充当一般財源(分子)」が増となった主な要因としては、経常経費となる人件費や物件費増等によるものであり、 「経常一般財源等(分母)」の主な増要因は、市税の減に対し、普通交付税や地方消費税交付金等の増が上回ったことによるも のである。

(内訳)

(単位:%、ポイント)

項目	経常収支比率	うち人件費	うち扶助費	うち公債費	うち物件費	うち補助費等
令和6年度	92.1	27.7	14.0	18.1	14.9	5.3
令和5年度	89.7	25.2	14.1	19.3	14.6	5.4
増 減	2.4	2.5	△ 0.1	△ 1.2	0.3	△ 0.1

		(単位:千円)

令和6年度	16,130,496	-
令和5年度	15,283,899 <b>•</b>	_

增減額 846,597

#### (増減内訳)

歳出費目	増減額(千円)	増減率(%)
人件費	561,933	13.1
扶助費	53,504	2.2
公債費	△ 114,031	△ 3.5
物件費	129,906	5.2
補助費等	22,649	2.5
繰 出 金	160,803	9.4
その他	31,833	16.8
計	846,597	5.5

#### ○経常一般財源等 [比率の分母] (単位: ₹円)

令和6年度	17,522,985	上日//以台只
令和5年度	17,044,779	478,206

#### (増減内訳)

歳入費目	増減額(千円)	増減率(%)
地 方 税 (市税)	△ 279,723	△ 3.1
地方譲与税	23,627	7.5
地方消費税交付金	44,093	2.9
地方特例交付金等	239,410	375.9
普通交付税	452,099	7.7
臨時財政対策債	△ 49,751	△ 46.0
その他	48,451	22.3
計	478,206	2.8

# (3) 財政指標等

# ②公債費負担比率

(単位:%)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公債費負担比率(%)	16.9	16.7	16.5	15.7	14.5
増 減	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.8	△ 1.2

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合を示す公債費負担比率は、前年度と比較して 1.2ポイント減の14.5%となった。

これは、分子となる「公債費に充当した一般財源」が、地方債現在高の減に伴う公債費の減の影響により、 1億1,403万1千円(△3.5%)の減となったことによるものである。

# ③<mark>地方債現在高</mark>

(単位:千円、%)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地方債現在高(千円)	34,067,309	33,052,606	31,012,242	29,313,041	27,871,518
増減率(%)	△ 3.2	△ 3.0	△ 6.2	△ 5.5	△ 4.9
臨時財政対策債を除く	23,539,327	22,537,929	21,221,279	20,401,532	19,833,489
増減率(%)	△ 3.8	△ 4.3	△ 5.8	△ 3.9	△ 2.8

「第2次日向市行財政改革大綱 [R3(2021)~R6(2024)] 」に基づく「市債残高の圧縮」の取組により、令和6年度末の地方債現在高は、278億7,151万8千円となり、前年度末と比較し14億4,152万3千円(△4.9%)の減となった。

また、臨時財政対策債を除いた前年度末現在高との比較についても、5億6,804万3千円(△2.8%)の減となっている。

# (3) 財政指標等

## 4健全化判断比率

(単位:%、ポイント)

	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	早期健全化基準	財政再生基準
健	実質赤字比率	1	1		1		12.66	20.00
全	連結実質赤字比率	1	1	1	1		17.66	30.00
化	実質公債費比率	10.6	10.7	11.0	10.9	10.5	25.0	35.0
断	増 減	△ 0.2	0.1	0.3	△ 0.1	△ 0.4		
比率	将来負担比率	59.4	40.8	30.4	34.8	30.9	350.0	
平	増 減	△ 12.4	△ 18.6	△ 10.4	4.4	△ 3.9		

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」に基づき、平成19年度決算より、健全化判断比率 (4指標)を監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表している。4指標のうち、いずれか一つでも基準値を超 えると、「財政健全化団体」「財政再生団体」となる。

#### ●実質赤字比率

一般会計等(普通会計)の実質赤字等の標準財政規模に対する比率。令和6年度は黒字であるため、比率なし。

#### ●連結実施赤字比率

全会計の実質赤字等の標準財政規模に対する比率。令和6年度は全会計黒字のため、比率なし。

#### ●実質公債比率

一般会計等が負担する実質的な公債費の標準財政規模等に対する比率で、3ヶ年の平均値で算出され、前年度と比較して0.4ポイント減少し、10.5%となった。

これは、分子となる公債費の減や分母となる標準財政規模が増となったこと等によるものである。

#### ●将来負担比率

企業会計・第三セクター等を含めた一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模等に対する比率で、前年度と比較して3.9ポイント減小し、30.9%となった。

これは、標準財政規模の増に伴う分母の増に対し、分子においては充当可能財源等のう基準財政需要額算入見込額(普通交付税に算入される地方債償還費等)が減となったものの、地方債現在高が大幅に減少したことによるものである。

# 2 企業会計(水道事業会計・簡易水道事業会計)

令和6年度日向市水道事業会計決算

#### (1)業務量

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)-(B)	增減率(%)
1 · 給水人口(人)	52,672	53,316	△ 644	△ 1.2
2. 給水戸数(戸)	23,619	23,526	93	0.4
3 · 年間総配水量 ( m <sup>3</sup> )	7,553,178	7,589,977	△ 36,799	△ 0.5
4 · 年間総有収水量 ( m³ )	6,636,978	6,721,684	△ 84,706	△ 1.3
5. 有収率(%)	87.87	88.56	△ 0.69	1

#### (2) 収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円、%)

				(半位・口、70)
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率
収益的収入	1,247,735,042	1,200,333,907	47,401,135	3.9
1 · 営業収益	1,194,644,795	1,148,482,995	46,161,800	4.0
2 · 営業外収益	53,090,247	51,850,912	1,239,335	2.4
3 · 特別利益	0	0	0	-
収益的支出	879,619,363	850,020,726	29,598,637	3.5
1 · 営業費用	838,830,325	809,141,333	29,688,992	3.7
2 · 営業外費用	39,358,408	40,062,447	△ 704,039	△ 1.8
3 · 特別損失	1,430,630	816,946	613,684	75.1
	_			

令和6年度の純利益は、368,115,679円です。

(その他未処分利益剰余金変動額 182,674,045円)

#### (3)資本的収入及び支出(税込)

(畄位・田 %)

				+似.口、%)
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率
資本的収入	278,502,225	276,071,237	2,430,988	0.9
1. 企業債	250,000,000	250,000,000	0	0.0
2 · 他会計出資金	2,290,491	2,253,432	37,059	1.6
3. 工事負担金	26,211,734	23,817,805	2,393,929	10.1
4 · 国庫補助金	0	0	0	-
5 · 他会計補助金	0	0	0	-
6. 固定資産売却代	0	0	0	-
資本的支出	759,434,222	860,021,140	$\triangle$ 100,586,918	△ 11.7
1 · 建設改良費	576,760,177	654,783,668	△ 78,023,491	△ 11.9
2 · 企業債償還金	182,674,045	205,237,472	△ 22,563,427	△ 11.0

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 480,931,997円は、損益勘定留保資金等で補てんしています。

#### 令和6年度日向市簡易水道事業会計決算

#### (1)業務量

区 分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)-(B)	增減率(%)
1 · 給水人口(人)	2,392	2,484	△ 92	△ 3.7
2. 給水戸数(戸)	1,045	1,081	△ 36	△ 3.3
3 · 年間総配水量 ( m <sup>3</sup> )	416,122	424,359	△ 8,237	△ 1.9
4 · 年間総有収水量(m³)	357,699	365,119	△ 7,420	△ 2.0
5. 有収率(%)	85.96	86.04	△ 0.08	-

#### (2) 収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円、%)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)- (B)	増減率
収益的収入	102,662,871	184,053,959	△ 81,391,088	△ 44.2
1 · 営業収益	62,972,430	61,452,830	1,519,600	2.5
2 · 営業外収益	39,690,441	122,601,129	△ 82,910,688	△ 67.6
3 · 特別利益	0	0	0	-
収益的支出	124,610,041	137,873,549	△ 13,263,508	△ 9.6
1 · 営業費用	121,417,178	127,526,849	△ 6,109,671	△ 4.8
2 · 営業外費用	3,182,113	10,330,500	△ 7,148,387	△ 69.2
3 · 特別損失	10,750	16,200	△ 5,450	△ 33.6

令和6年度の純損失は、21,947,170円です。

(その他未処分利益剰余金変動額 0円)

#### (3)資本的収入及び支出(税込)

(単位:円、%)

			\ ·	<b>十四・13、70</b> /	
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率	
資本的収入	179,463,000	29,042,000	150,421,000	517.9	
1. 企業債	158,700,000	8,200,000	150,500,000	1,835.4	
2 · 他会計出資金	20,763,000	20,842,000	△ 79,000	△ 0.4	
3. 工事負担金	0	0	0	-	
4 · 国庫補助金	0	0	0	-	
5. 固定資産売却代	0	0	0	-	
資本的支出	204,920,353	55,910,426	149,009,927	266.5	
1 · 建設改良費	164,818,640	15,506,320	149,312,320	962.9	
2 · 企業債償還金	40,101,713	40,404,106	△ 302,393	△ 0.7	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 25,457,353円は、損益勘定留保資金等で補てんしています。

# 企業会計(下水道事業会計・農業集落排水事業会計)

令和6年度日向市下水道事業会計決算

#### (1)業務量

(1) 未初里				
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)-(B)	増減率(%)
1. 行政区域内人口(人)	57,504	58,264	△ 760	△ 1.3
2. 処理区域内人口(人)	34,469	34,694	△ 225	△ 0.6
3. 普及率(%)	59.9	59.5	0.4	0.7
4. 水洗化人口(人)	32,064	32,146	△ 82	△ 0.3
5. 水洗化率(%)	93.0	92.7	0.3	0.3
6 · 年間処理水量 ( m³ )	3,784,657	3,771,315	13,342	0.4
7. 1日平均処理水量(m³)	10,369	10,304	65	0.6
8 · 年間有収水量 ( m³ )	3,513,223	3,530,816	△ 17,593	△ 0.5

#### (2) 収益的収入及び支出(税抜)

(2) 収益的収入及び支出(税抜) (単位:円						
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)- (B)	増減率		
収益的収入	1,366,749,657	1,375,811,861	△ 9,062,204	△ 0.7		
1.営業収益	501,177,266	505,475,083	△ 4,297,817	△ 0.9		
2 · 営業外収益	865,572,391	870,336,778	△ 4,764,387	△ 0.5		
3 · 特別利益	0	0	0	-		
収益的支出	1,131,912,757	1,135,453,716	△ 3,540,959	△ 0.3		
1.営業費用	1,062,385,855	1,057,017,176	5,368,679	0.5		
2 · 営業外費用	69,077,808	78,089,447	△ 9,011,639	△ 11.5		
3 · 特別損失	449,094	347,093	102,001	29.4		

令和6年度の純利益は、234,836,900円です。 (その他未処分利益剰余金変動額 205,747,116円)

#### (3)資本的収入及び支出(税込)

(単位・田 %)

			(阜	型: 円、%)
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)-(B)	増減率
資本的収入	526,530,880	630,918,010	△ 104,387,130	△ 16.5
1. 企業債	307,100,000	347,700,000	△ 40,600,000	△ 11.7
2 · 国庫補助金	99,114,000	170,050,000	△ 70,936,000	△ 41.7
3 · 他会計補助金	0	0	0	1
4. 負担金	36,188,880	30,478,010	5,710,870	18.7
5. 出資金	84,128,000	82,690,000	1,438,000	1.7
6. その他資本的収入	0	0	0	-
資本的支出	1,147,023,206	1,254,216,736	△ 107,193,530	△ 8.5
1 · 建設改良費	337,738,665	414,264,358	△ 76,525,693	△ 18.5
2 · 企業債償還金	809,283,465	839,951,299	△ 30,667,834	△ 3.7
3. 投資その他の資産	1,076			△ 0.3
答本的収入短が答本的古中短に	不見する顔(20.40	つって田川場大助	宁四伊咨孕至下油	アムーアいま

貸本的収入額か貸本的支出額に不足する額620,492,326円は損益勘定留保貸金等で補てんしていま

#### 令和6年度日向市農業集落排水事業会計決算

#### (1)業務量

( 1 ) / 3/1 =				
区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)-(B)	増減率(%)
1. 行政区域内人口(人)	57,504	58,264		△ 1.3
2. 処理区域内人口(人)	2,372	2,425	△ 53	△ 2.2
3. 普及率(%)	4.1	4.2	△ 0.1	△ 2.4
4. 水洗化人口(人)	2,078	2,117	△ 39	△ 1.8
5. 水洗化率(%)	87.6	87.3	0.3	0.3
6 · 年間処理水量(m³)	244,863	240,217	4,646	1.9
7. 1日平均処理水量(m³)	671	656	15	2.3
8 · 年間有収水量(m³)	258,907	259,271	△ 364	△ 0.1

#### (2) 収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円、%)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)- (B)	増減率
収益的収入	202,766,678	208,213,864	△ 5,447,186	△ 2.6
1 · 営業収益	31,641,426	31,492,150	149,276	0.5
2 · 営業外収益	171,125,252	176,721,714	△ 5,596,462	△ 3.2
3 · 特別利益	0	0	0	-
収益的支出	153,177,450	155,657,247	△ 2,479,797	△ 1.6
1 · 営業費用	139,727,816	141,248,028	△ 1,520,212	△ 1.1
2 · 営業外費用	13,288,391	14,384,119	△ 1,095,728	△ 7.6
3.特別損失	161,243	25,100	136,143	542.4

令和6年度の純利益は、49,589,228円です。 (その他未処分利益剰余金変動額 18,344,375円)

#### (3)資本的収入及び支出(税込)

(単位・田 %)

	( <del>*</del>			
区 分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A)- (B)	増減率
資本的収入	113,653,000	58,453,000	55,200,000	94.4
1. 企業債	62,500,000	35,300,000	27,200,000	77.1
2 · 国庫補助金	44,889,000	21,501,000	23,388,000	108.8
3 · 県補助金	6,264,000	1,652,000	4,612,000	279.2
4. 負担金	0	0	0	-
5. 出資金	0	0	0	-
6. その他資本的収入	0	0	0	-
資本的支出	174,217,399	121,841,570	52,375,829	43.0
1 · 建設改良費	87,421,950	34,338,700	53,083,250	154.6
2 · 企業債償還金	86,795,449	87,502,870	△ 707,421	△ 0.8
3. 投資その他の資産	0	0	0	-
次十的四3 短衫次十的十山短广子中主之短co.cc.4 200円从提举勘定的归次会签字建文 / /				

資本的収入額が資本的支出額に不足する額60,564,399円は損益勘定留保資金等で補てんしています。